

帰郷

[1950年 松竹(大船)]

[スタッフ]

原作 大佛次郎
脚本 池田忠雄
監督 大庭秀雄
撮影 生方敏夫
照明 田村晃雄
録音 妹尾芳三郎
音楽 吉沢博
" 黛敏郎
美術 浜田辰雄

[出演者]

高野佐衛子	木暮実千代
守屋恭吾	佐分利信
娘 伴子	津島恵子
隠岐節子	三宅邦子
夫 達三	山村聡
牛木利貞	柳永二郎
高野信輔	徳大寺伸
憲兵曹長	三井弘次
小野崎公平	日守新一
岡部雄吉	高橋貞二
岡村俊樹	市川笑猿
お種	坪内美子

(白黒／スタンダード／モノラル／104 分)

原作は、大佛次郎が毎日新聞に連載した長篇小説である。海外を放浪し、無国籍者となっていた元海軍軍人が戦後日本に帰国し、かつて自分を窮地に陥れた愛人や、音信を絶っていた娘に会うが、すっかり様が変わりしている日本に失望して、再び去っていく。混乱した復興期の世相を背景に、上質の情感をたたえた作品になっている。同年の『長崎の鐘』(1950)や、『君の名は』三部作(1953-54)の大ヒットにより、松竹のエース監督となった大庭秀雄は、同社伝統のメロドラマの作法を十二分に体得した作家であり、心理描写などにたしかな手腕を示した。特に京都の苔寺(西芳寺)の場面は流麗といえるだろう。「キネマ旬報」ベストテン第2位。